

## 0400 | 現代芸術論

2 単位 (通信授業 2 単位)

田中正之教授、岡山理香講師

## 授業の概要と目標

「現代芸術」という言葉は、多くのことを意味しえますので、ここでは、20 世紀以降の視覚芸術全般を指すことにします。時代区分として、現代芸術を第二次世界大戦以降のものとするのは、アメリカ美術を中心とした考え方ですので、ここでは、モダン・アートもコンテンポラリー・アートも含まれます。

しかし、全ての 20 世紀以降に制作されたものを現代芸術と呼ぶことはできるでしょうか。現代芸術の定義とは何でしょうか？ なかなか答えにくい問いですが、たとえば、ある作品を前にして、それを日常の延長として理解することが極めて難しいものほど現代芸術という範疇に属している可能性が高いと言えるでしょう。

さて、そうした現代芸術を同時代的な現象としてその日々の変化をリアルタイムに追うことはきわめて困難です。多くの作品を実際に見るに止まらず、雑誌、新聞、テレビ等のメディアをも調べなければなりません。その後に蓄積された膨大な量の情報は、理論という篩いにかけて、はじめて理解可能となるのです。また、今日の芸術は、過去との連続として語られるものです。アクチュアルな問題を扱うには、今日までの芸術の歴史と理論を知る必要があります。

学生諸君が、21 世紀の芸術の制作／享受する者として、現代芸術の理論を作品とともに理解することをこの科目の目標とします。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1

20 世紀芸術を概観しながら、芸術における「～主義 (イズム)」とは何かを考えるため、一つの「主義 (イズム)」を中心として、その派生と終焉／継続についてレポートにまとめる課題。

## ○通信授業課題 2

それまでの特権的に享受されていた芸術が「大衆化」することによってどのような変化を遂げたのかを考えるため、作品の分析研究に基づいてレポートをまとめる課題。

\* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

## [通信授業]

像と視線—ポップアート以降のイメージについて 真剣な操作—『リアルな芸術』のありか フェミニズムの芸術 アートと映像インスタレーション 日本の 20 世紀をめぐる視点 身体の裁縫術—ファッションと性 「デザインとは何か」を考えるために

## 成績評価の方法

## ◎科目試験

出題内容は、学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』に記載。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

「西洋美術史 I・II」、「東洋美術史」とともに履修することが望ましい。

## 教材等

教科書：田中正之編『現代アート 10 講』（武蔵野美術大学出版局 2017 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）